

犯罪対策として、町内各学校の全クラスにサイレン付きハンドマイクを備えるほか、中津川小学校のプール防水工事、求名小学校入口道路舗装、フェンス改修、中学校の屋内運動場の設計及び地質調査費を計上し、来年度に国庫補助事業として整備できるよう努めます。

〔社会教育対策について〕

生きがいある人生と活力ある地域づくりのため、生涯学習を一層推進します。今後も全ての町民を対象として、中央公民館の各種講座、各団体・グループ・個人による学習支援のほか、気軽に学習機会が得られるよう引き続き出前講座の充実推進に努めます。

また、中央公民館や各校区の公民館における子ども放送局や読書教室の開設、各種団体の実施する事業の広報、支援及び人材活用事業による講師派遣をおこなうとともに、町民の皆さんが情報化社会に一層適切に対応できるようにするために昨年に引き続き「IT講座」を実施します。

〔道路整備について〕

道路維持については、平成12年度から採用しました作業班を主に維持補修工事を継続します。新規道路改良は、過疎対策事業で宮ノ前線の測量設計、町単独事業で狩宿線、谷川三反田線、金山線、平八重川線、宮前境田線等5路線を計画。継続路線については引き続き整備を進めますが、辺地対策事業として昨年測量を実施しました仕明・田平線、過疎対策事業では観音滝線、戸子田・蔵野線及び大丸・下り山線の改良工事に着手の計画です。

地域高規格道路「北薩横断道路」整備については、横川・永野（空港道路）が平成13年度で終了し8月上旬に供用開始の予定です。引き続き永野・求名（薩摩道路）の整備区間格上げを各関係機関に強力に要望活動をした結果、12月18日その指定を受け、本年度の政府予算に1億円が計上されました。地域のご協力のもとで関係機関と連携を取り「薩摩道路」の整備促進と、一日も早い完成へ向け、なお

一層の努力をいたします。

その他主要地方道牧園薩摩線は、本年度中にほぼ用地、補償関係が完了する見通しであり、年度中に工事着工ができるよう要望します。県道薩摩郡答院線は、本年2月に設立された「鹿児島大口幹線道路整備促進期成会」と一緒になり整備促進の要望に努めます。

〔住宅建設について〕

昨年から3年間の計画で各校区2戸ずつの建設を計画しています。本年度は永野校区に建設を予定しており、少しでも若者の定着、人口増ができればと期待しています。

〔財源確保について〕

以上が一般会計における主な事業内容ですが、これに見合う財源に、地方交付税16億6,900万円(47・5%)、地方債5億5,230万円(15・7%)、繰入金3億6,875万5千円(10・5%)、町税3億2,26万9千円(8.6%)、国県支出金3億8,886万7千円(11・1%)等

を措置計上しました。本年度の予算は歳入歳出ともに35億1,700万円、前年度と比較しますと2.2%の増です。

〔国民健康保険特別会計〕

高齢化率の上昇に伴い老人保健医療費拠出金が増加しています。住民一人ひとりの健康保持、増進のため総合健康まちづくり支援事業を実施し、各種健康教育や健康相談、検診等と併せ訪問指導等を積極的ににおこない、地域住民と一体となつて健康意識の高揚を図ります。また高齢者医療制度の改革が示され、患者負担及び老人医療費拠出金に係る見直しが本年10月実施とされていることから医療費抑制への対応策を図ります。

〔介護保険特別会計〕

制度施行3年目を迎え、実態調査をもとに老人保健福祉計画策定委員会では計画及び保険料の適切な見直しをおこない、事業運営に係る財政の均衡を保持するよう努めながら利用者から信頼される介護サービスの確立を図ります。

〔簡易水道特別会計〕

昨年度から3年間の計画で総事業費4億5,200万円の国庫補助事業の導入を図り、年次的に施設整備及び夏場の水不足等の解消に努めています。本年度は中央監視施設及び漏水防止、水質管理それに伴う町内の浄水場並びに配水池等のテレメーター設備等の整備を進め、今後も設備の充実を図りながら、おいしくて、安心、安全な水の安定供給に努めます。白猿地区営農飲雑用水施設については、管理組合の借入金の残金を、本年度と来年度の2年間で助成をおこなう予定です。また施設管理についても、今後1年をかけて施設管理条例の整備や特別会計等の諸問題について、隣接町の管理状況等を参考にしながら検討し、平成15年4月から建設課水道係で管理していくよう努めます。

以上が平成14年度一般会計をはじめ、特別会計の当初予算の主な内容です。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。